

先進地事例調査研究

令和8年1月21.22.23日 生活環境委員会 委員長 藤川 和弘

- 神奈川県三浦市 ▶ 令和8年1月21日(水)「ウォーターPPPの取り組み」について
- 東京都世田谷区 ▶ 令和8年1月22日(木)「自転車通行帯(ブルーレーン)整備の取り組み」について
- 東京都八王子市 ▶ 令和8年1月22日(木)「八王子てくポ」について
- 千葉県千葉市 ▶ 令和8年1月23日(金)「千葉市障害者基幹相談支援センターの取り組み」について

ウォーター PPP については、財政や人材不足の中で民間連携は有効な選択肢である一方、行政の監督体制や技術力の維持、将来の見直しの可能性を十分に考慮する必要性を感じた。ブルーレーン整備では、自転車利用者の安全性や視認性を高める整備方法の重要性を実感した。てくポでは、行政事務の効率化やデータ活用の可能性がある一方、費用負担や運営体制の検討が不可欠であると感じた。また、障害者基幹相談支援センターについては、事業所の支援力向上や困難事例への対応力強化のためにも重要な役割を担うと認識した。今回の視察で得た知見を、本市の施策検討に生かしていく必要があると感じた。



令和8年2月4.5.6日 総務文教委員会 委員長 中川 智之

- 大阪府門真市 ▶ 令和8年2月4日(水)「中学校部活動地域移行事業」について
- 大阪府四条畷市 ▶ 令和8年2月5日(木)「教育のデジタル化」について
- 大阪府池田市 ▶ 令和8年2月5日(木)「スマート農業を生かした農福連携」について
- 大阪府寝屋川市 ▶ 令和8年2月6日(金)「働き方改革」について

門真市では、中学校部活動の地域移行について教育委員会教育部および生涯学習課から説明を受け、背景や現状、課題と効果を伺い、持続可能な部活動の実現に向けた取組は、本市にとっても参考となるものでした。四条畷市では、教育支援センターより教育のデジタル化に関する取組を調査、AI型ドリルの活用やICTによる校務支援の効率化などを調査研究しました。池田市では、「まちづくり環境部」から、スマート農業を活用した農福連携の地域活性化事業について説明を受け、農業と福祉を結びつける取組は、地域の新たな担い手づくりにもつながる可能性を感じました。寝屋川市では、総務部を中心に、望まない残業の解消やワークライフバランスの実現、市民サービス向上をめざした働き方改革について伺い、業務改善の具体的な工夫や職員の意識改革などを学びました。いずれの市でも担当者の熱意と工夫が伝わり、参加した委員・市職員にとって大変有意義な学びとなりました。今回得た知見を、今後の本市施策の充実にしっかりと反映してまいります。

